



(1) 第238号

## 学友会ニュース

平成26年5月1日

**柳田敏雄**生命機能研究科特別研究推進  
講座特任教授(昭44・阪大基)**に文化功劳者**  
(2面、3面に関連記事)

平成25年度大阪大学卒業式が3月25日午前11時から大阪城ホールにて行われた。平野俊夫総長は挨拶の中で、ゲーパルに活躍できるリーダーとしての資質と能力が備わっていることを誇りに思ひ、品格と責任を持って社会に進んでもらいたいと励ました。

柳田敏雄 生命機能研究科特別研究推進  
講座特任教授(昭44・阪大基)に文化功劳者

# 103名の医学士誕生

## 第85回 卒業式



第238号

公益社団法人  
医学振興  
銀杏会

(編集同人)  
 川越裕也 男後正太郎  
 門田央典 武木正雅  
 本門和洋 武木俊正  
 杉朝尚 黒木正

「調和ある多様性を創造する」  
 ことが求められている。そのためには多様性を認める「共に生きる心」が必要であり、大阪大学では適塾以来そのような精神を受け継がれていることを述べられ、大阪大学では本年を世界適塾元年と位置づけて創立100周年を迎える2031年までには世界適塾として世界トップ10の研究総合大学になる計画であることを話された。そして、卒業生に「夢は叶えるためにこそある」とはなむけの言葉を贈られた。

また、卒業式に伴う医学部医学科卒業式が同日午後3時30分より医学部A講堂にて行われ、本年度は103名の新医学士が誕生した。式において金田安史医学部長より一人一人に学位が授与された。医学部長は挨拶の中で、これから社会の荒波に揉まれることになるが阪大医学部の卒業生として歴史の重みを感じて這い上がる高い志を持つこと、一つ上の目標を持つこと、そしてポジティブな気持ちで長い期間を通じて取り組むことの重要性を諭された。続い

て吉川秀樹病院長は、大阪大学と附属病院の素晴らしいは、外出初めてわかるものであり、それを知ったうえでまた附属病院に戻ってきてほしい。日本一人一人に学位が手渡された学位授与式の意味を味わって、これまでお世話になつた人に感謝すると共にこれから自分の生き方を考えほしいと、応援の言葉を掛けられた。最後に岸本忠三医

開催日 平成26年5月3日(土)  
 開催場所 大阪大学医学部銀杏会館  
 級会・支部 会 正午～午後一時三十分  
 (三階阪急・三和ホール)  
 特別講演 テーマ「制御性T細胞による免疫応答制御」  
 演者 大阪大学教授 坂口志文先生  
 懇親会 午後四時三十分より  
 (二階レストラン「ミネルバ」)

の進歩を振り返りながら、世界の中では日本の医学者がどうれば貢献できたかというと必ずしも十分ではない。阪大の卒業生は日本のエリートではあるが、広く世界に目を向けて世界で活躍するリーダーになつてほしいと激励され、夢見れば能力は開花するとの激励の言葉を贈られた。平成25年度「楠本賞」の栄

誉は渡邊優子さんに贈られ、平成25年度の「山村賞」は植煙拓也君と山本正樹君にその御祝いが卒業生に贈られた。岸本理事長は、伝統ある学友会の一員としてお迎えしたいとのお言葉の後に、医学

## 定期総会ご案内



## 柳田敏雄教授

(昭44・阪大基)

### 文化功労者選出を祝う

2013年11月、柳田敏雄先生が文化功労者の栄誉に浴されました。

大阪大学基礎工学部電気工学科を卒業し、修士課程ではトランジスター研究をしていました。

柳田敏雄先生は1年の会社勤務を経て、生物工学科の博士課程に進学し、大沢文夫先生の研究室で筋収縮の研究を始めました。ノーベル賞学者であるSir Andrew F. Huxley

が、阪大時代に大坂の町に開いた江戸時代の病院長を拝命致しました内科講座（血液・腫瘍内科）教授の金倉讓（昭54）

が、吉川秀樹前病院長の後任として、平成26年4月1日より医学部附属病院長を拝命致しました。

学友会の先生方にはますま

くお願い申し上げます。

柳田敏雄先生が文化功労者選出を祝う

学友会の先生方にはますます清祥のこととお慶び申し上げます。この度、吉川秀樹前病院長の後任として、平成26年4月1日より医学部附属病院長を拝命致しました。

学友会の皆様、今後ともよろしくお願い申し上げます。

柳田敏雄先生が文化功労者選出を祝う

金倉讓（昭54）

司馬遼太郎は「洪庵のたいまつ」という青少年に向かって、文章の中でこう語っています。「世のためにつくした人の一生ほど美しいものはない。（中略）緒方洪庵のこと

である。この人は江戸末期に生まれた医者であった。かれは名を求めず、利を求める

が、柳田敏雄先生が文化功労者選出を祝う

こと

が、柳田敏雄先生が文化功労者選出を祝う

( 3 ) 第238号

提

本年4月1日、日本医学会が「日本医学会連合」の名前で一般社団法人となつた。日本医学会は日本聯合医学会として1902年に創設され、4年毎に医学会総会を開催する活動を続けていた。一方大日本医師会が全国組織として設立されたのは1916年のことである。その後、法による

パク質科学、次世代超高速データ処理の開発、分子DNAシーケンサー、そして細胞情報伝達処理の1つとして分子観察に応用されるなど生命科学全般に大きく貢献しています。柳田グループはその後、自身で開発した技術を駆使してモーター・タンパク質の運動について詳細に解析した結果、生物分子モーターがガラウン運動（"ゆらぎ"）を巧みに使って運動するという二重メカニズムで働いていることを示しました。さらには細胞や、脳の研究からそれらが機能する際にも、"ゆらぎ"に基づく組織となつた日本医師会は、第二次世界大戦が始まると国家統制下に置かれていたため、敗戦と同時にGHQからより戦争協力者と言う理由から日本医師会は事実上解散させられた。1947年には新しく社団法人日本医師会として誕生したが、GHQは医師会に学術的な機能を持たせる必要があるとして、1948年日本医学会を一方的に日本医師会に統合させたのである。その後65年の間、日本医学会は日本医師会の下部組織として、日本医学会を一方的に日本医師会に統合させたのである。その後65年の間、日本医師会に統合させたのである。

やつと一般社団として登録されたのである。昨年4月、日本医師会の定款が改訂され、日本医学会の単語が用いられているため、「日本医学」として登録された。日本医学は、日本医学の専門家による組織としての存在を強調した。このうち、筆者を中心とする研究グループは、大阪大学医学部脳情報通信融合センター長、理研生命システムセンター長として、2006年日本外科学会に就任した時、この点を開拓して挙げ、他の外科系学会と共に問題の解決に向けて活動を開始した。そしてこの

ム研究センターのセミナー長、そしてスープーランプュータ「京」を使ったプロジェクトディレクタとして、プロジェクトの主導権を握り、研究員ら、ホットを用いて、月曜日から個体まで広く、命現象に関わる原理を追究し、基礎研究と科学技術展に尽力していきます。今後のご健勝をご活躍祈り申し上げて、お祝い葉とさせて頂きます。

京都大学物質・細胞統合システム拠点教授 原田ノリト

会」として登記では問題が起きた可能性があると断で「日本医学会連合」称で登記することとなつた。今後の活動では、これまで開催してきた事業は総て今度、通り医師会下部組織として、云々と運動が云々と連絡がござります。これが月曜日から個体まで広く、命現象に関わる原理を追究し、基礎研究と科学技術展に尽力していきます。今後のご健勝をご活躍祈り申し上げて、お祝い葉とさせて頂きます。

京都大学物質・細胞統合システム拠点教授 原田ノリト

略歴	昭和63年 4月	大阪
平成8年 5月	大阪	
平成10年 4月	日本	
平成14年 4月	大阪	
平成19年 10月	世界	疫学
平成22年 4月	大阪	
平成23年 4月	理化	
平成25年 11月	ムデ 情報 究セ	
平成25年 11月	平成	

日本医学会法人化の意義

（） もののまゝ現る根柢へ

# 「イメージングは本当に生命科学研究に革命をもたらすのか？」

## トピックス

近年の蛍光生体イメージングの技術進歩は、医学・生命科学の領域に革命的変化を齎すと言われている。CT／MRIやPETなどの従来の画像診断法とは異なり、生きた動物の臓器・組織内部において、生きた細胞・分子の動態・機能を手に取るように詳しくにする本法は、他に代え難い長所がある(図)。この技術はヒトの組織・細胞観察にも応用可能であり、近い将来、新しい診断機器として臨床応用も既に視野に入っている。

動物とは、その名の通り「動物」であり、生体内における細胞や分子の統率された動きこそ生命の本質が宿つてゐる。従来技術では「動く前」と「動いた後」のスナップショットを比較して「動き」を類推していくに過ぎなかつたが、今や「動き」そのものを捉えることができる訳である。

それでも、これまで見えなかつたものが見えるようになること、「と言われている。しかし、果たしてそうであろうか。

それで、イメージングと言えども、それは有効な武器であるが、活かすも殺すも、結局は研究者次第である。蛍光生体イメージングは、動きを追跡するには有効な武器であるが、それは論を待たないが、その解析対象とする細胞・分子を一つのツールであり、それを活かすも殺すも、結局は研究者次第である。本法がこれまで大きめの標識しておく必要がある。一方で分子Xの欠損と表現型である。本法がこれまで大きな研究成果をもたらしてきたことは論を待たないが、その一方で分子Xの欠損と表現型の発現との間には数多くの不明な影響が積み重なっており、純粹に形態情報を得る際には、従来の組織学的解析の方があることが多い。生体吹けば桶屋が儲かる」のよう

イメージング研究のブームの中でも、残念ながら「鶏を割く中で、冗談ながら「鶏を割く複雑系を構成する各要素が全

てとして如何に統合・維持されているかを理解する「生体

イメージング」は、次世代の短所を十分理解して活用する

研究展開の中でその重要性を

さらに増していくと期待される

ことこそが、真に革命的成果を得るために必須であろう。

ただ、現在のイメージング

ブームが既にもたらしている免疫細胞生物学

研究者による世界が3次元から4次元(x/y/z+時

間軸)に一段上がったとも言えるかもしれない。いずれに

しても、これまで見えなかつたものが見えるようになるこ

とで、イメージング研究は「生

命科学研究に革命をもたらす」と言われている。しかし、

果たしてそうであろうか。

それで、イメージングと言えども、それは有効な武器であるが、

活かすも殺すも、結局は研究者次第である。本法がこれまで大きめの標識しておく必要がある。

一方で分子Xの欠損と表現型

である。本法がこれまで大きな

研究成果をもたらしてきた

ことは論を待たないが、その

一方で分子Xの欠損と表現型

である。本法がこれまで大きな

**紹  
診  
療  
科  
介  
呼吸器内科  
免疫・アレルギー内科**

本教室のルーツは明治38年に結核診療と研究を担う肺瘍科として設立されたことに始まります。その後、内科全般の診療を行なうことより第三内科と名称変更されました。平成10年に分子病態内科学と改称、内科の臓器別再編により、(開講100周年にあたる)平成17年、呼吸器免疫アレルギー内科学教室へと至っています。現在は阪大病院呼吸器センターにおける肺癌、慢性閉塞性肺疾患(COPD)などの呼吸器疾患、免疫アレルギー内科におけるウマチ・膠原病・アレルギー疾患などの免疫疾患、WT1疾患を用いた癌ワクチン療法を中心とした診療・研究を行なっております。

まず、呼吸器内科グループについて紹介させていただきたいです。(当科の源流は肺労科に端を発しますが)21世紀の

今日、結核は不治の病とは言わなくななりましたが、依然として死亡原因の上位にランクし、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、下部呼吸器感染症、肺癌と合わせて、これらの呼吸器疾患は日本のみならず全世界の死亡原因の10傑に常に入れ、(開講100周年にあたる)平成17年、呼吸器免疫アレルギー内科学教室へと至っています。現在は阪大病院呼吸器センターにおける肺癌、慢性閉塞性肺疾患(COPD)などの呼吸器疾患、免疫アレルギー内科におけるウマチ・膠原病・アレルギー疾患などの免疫疾患、WT1疾患を用いた癌ワクチン療法を中心とした診療・研究を行なっております。

まず、呼吸器内科グローブについて紹介させていただきたいです。

まず、呼吸器内科グローブについて紹介させていただきたいです。

大病院では、平成24年4月に呼吸器外科との共通病棟として呼吸器センターが開設され、合理的かつ円滑な診療が可能となりました。一方で、用された抗インテロイキン療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、

これまでステロイド一本槍で

あつた治療法が大きく変化して

います。特に生物学的製剤

と呼ばれる新規の免疫抑制療

法は従来の治療法と隔絶する

高い有効性を示しており、診

療がバラダームシフトしたと

言われています。当科は生物

新規の治療法の開発が進み、



…その139

大学紛争の激しい時期を私は刀根山病院、米国留学で過ごし直接には影響を受けていなかった。大学紛争は落ち着いていた。MG患者が溢れていた。MGの全患者予後を1年がかりで

ね」と言われた。この言葉について無知の助手一年生の意味がわかつたのは大学に帰つてからであつた。

私は独楽鼠のごとく外来・病棟を走り回つた。ホルモン代

命令ではなく懇願であった。た。胸摘は胸骨縫切開か頸部横切開で行われていた。過去調査した結果、胸摘の有効性と胸骨縫切開法の優位性が判明した。

MGと私を結びつけた大学紛争 縫隔内胸腺組織分布の検討 大学紛争は落ち着いていた。謝る研究どころではなく某教授の言葉の意味がわかつた。授の言葉の意味がわかつた。存在した。正岡先生は前・中

練つていた時に正岡昭先生から大学に帰るようにと声がかかった。一度はお断りした重症筋無力症(MG)を見る人が再度のお声にホルモン代謝の研究をさせてもらえるなGをみてほしいと言われた。

ら、との条件で大学に帰ることにした。某教授に話したところ「大学で何ができるんだ

ころ」大学で何ができるんだね」と言われた。この言葉の意味がわかつたのは大学に帰つてからであつた。

は胸骨縫切開による単純な胸摘より遙かに優れていた。

その後、MGが抗アセチルコリン受容体抗体(抗AChR抗体)

をもつ自己免疫疾患と判明し、われわれは胚中心部のB細胞が抗A抗体を大量に產生することを明らかにした。

MGへの執念が私をMG研究に導いた。感謝している。

抗コ剤に加えてステロイド、他の免疫抑制剤、マーケード

ドリソウなども使用されるようになり血漿交換療法も現れ

阪大名誉教授柏木哲夫先生

(昭40)にお願いしました。

徳島大学名誉教授門田康正(昭38)

で荒廃した医局と正岡先生のMGへの執念が私をMG研究に導いた。感謝している。

次回は金城学院大学学長、淀川キリスト教病院理事長、

阪大名誉教授柏木哲夫先生

(昭40)にお願いしました。

コ剤に次ぐ優先順位にある。

コ剤を「拡大胸腺摘出術」とし

て発表した。拡大胸摘の予後

拡大胸摘開始20数年後の調査